

ゆうあいピック三年ぶりに開催

／熱い想いを胸に／

陸上

第30回千葉市ゆうあいピック大会が5月18日に3年ぶりに開催されました。（卓球は5月8日）。

前までの雨続きは止み、大会を祝福するかのような五月晴れの中、出場競技にいきいきと取り組んでいる選手や午前中だけの大会でも陽に焼けている選手がいるのが印象的でした。

今回、青葉の森公園では、開・閉会式やリレー種目、メダル授与式の廃止、フライングディスク競技は野球場を使用、通路や出入口の指定、それから無観客と様々なコロナ禍対策がとられています。

ある事業所の責任者の方は「今年は開催するというので、張り切って練習に励んできた。「会話は控え目にし、大声での応援は避け、拍手で応援する。」「午前中の競技終了は物足りないが、2年間の中止を思えば、育成会はじめ大会関係者の方々の尽力に感謝したい」と発言されていました。

来年はいつもの競技種目に戻り、

もっと多くの皆さんが参加でき、表彰

式でも恒例の万歳三唱ができるよう

願っています。

（副会長 佐久間）



ボウリング競技は、三年前と同じ場所のVEGAアサヒボウリングセンターで行われました。

またが、感染対策のため、競技のルール変更や、席は一つ開けて座るなど、細かいところでの会場の使用方法の変更が余儀なくされました。

そのためか、多少の緊張感を漂わせながら、選手44人、ボランティアの方々29人で競技がスタートましたが、始まつてみると、いつしかコロナ禍以前と同じ活気が戻ってきていました。



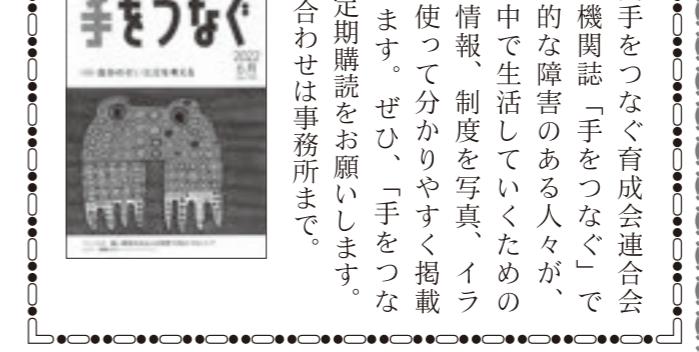
会場は、真剣な眼差しの選手の一投一投から弾き出されるピンの軽快な音で溢れ、ボランティアの方々の力強い応援や励まし、そして選手の皆さんと一緒に喜一憂し合う姿があちこちに見られ、競技はスムーズに行われました。

「お疲れ様！」とお互いに言い合ひながら解散し、無事に競技を終えることができました。

ご協力をいたいた皆様、今年もありがとうございました。（会員 土戸）

育成会のうごき 3月～6月

3月9日	【全育連】正会員会長・事務局長会議・オンライン
10日	障害児(者)のための摂食嚥下指導事業推進委員会・オンライン
18日	法人理事会
23日	千葉市における成年後見制度促進に係る地域連携ネットワーク協議会・オンライン
”	【全育連】育成会フォーラム・行政説明会、YouTube配信
25日	千葉市社会福祉協議会評議員会
29日	法人定時評議員会
”	法人理事会
4月14日	関東甲信越ブロック手をつなぐ育成会連絡協議会代表者会議・オンライン
5月8日	第30回千葉市ゆうあいピック(卓球)
18日	第30回千葉市ゆうあいピック(ボウリング・陸上・水泳)
19日	千葉大学教育学部附属特別支援学校評議員会・オンライン
23日	第69回総会・オンライン、対面
27日	法人理事会
31日	特別支援連携協議会
6月3日	市立養護学校評議員会
16日	障害児(者)のための摂食嚥下指導事業推進委員会・オンライン
22日	法人評議員会
29日	【全育連】総会・オンライン
”	千葉市社会福祉協議会評議員会



この広報紙は「赤い羽根共同募金」の助成により発行されています。

◆ 息子の進路決めが近づいてきました。小さい頃はコツクさんになりました。歯医者さんで、数年かけて一本ずつ抜きました。

◆ 先日、ようやく最後の歯を無事に抜くことができ、親子共にほつとしています。

（小野塚）

◆ 息子の進路決めが近づいてきました。小さい頃はコツクさんになりました。歯医者さんで、数年かけて一本ずつ抜きました。先日、ようやく最後の歯を無事に抜くことができ、親子共にほつとしています。

（御代）



総会 三年ぶりに開催

第167号
令和4年(2022)7月15日
千葉市手をつなぐ育成会
会長 成田 智子
千葉市稲毛区作草部2-4-5
でい・さくさべ2階
TEL・FAX 043-206-4050
chibacity-hands@ikusei-kai.jp

稲毛保健福祉センターにて3年ぶりに開催されました。会員数516人のうち、出席者35人、委任状提出322人で会員数516人の過半数を満たし成立了。

令和二、三年度総会は書面決議でしたが、今年度は、オンライン配信と、稲毛保健福祉センターの大会議室にて配信をご覧いただきました。

令和二、三年度総会は書面決議でしたが、今年度は、オンライン配信と、稲毛保健福祉センターの大会議室にて配信をご覧いただきました。

議事進行は別室にて

新年度にあたり

会長 成田 智子

今年度千葉市では、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援センターが統合となります。統合後は従前の地域生活支援拠点としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答をいただいているところです。

統合により、障害者の重度化、高齢化や「親なき後」を見据え、としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答をいただいているところです。

育成会では今年度、総会そして、受託しておりますゆうあいピックも開催することができます。少しすつではありますが顔を合せて、引き続きオンラインの利点も取り入れながら会員の皆様とのつながりを大切に進めています。

今年度千葉市では、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援センターが統合となります。統合後は従前の地域生活支援拠点としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答をいただいているところです。

育成会では今年度、総会そして、受託しておりますゆうあいピックも開催することができます。少しすつではありますが顔を合せて、引き続きオンラインの利点も取り入れながら会員の皆様とのつながりを大切に進めています。

今年度千葉市では、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援センターが統合となります。統合後は従前の地域生活支援拠点としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答をいただいているところです。

育成会では今年度、総会そして、受託しておりますゆうあいピックも開催することができます。少しすつではありますが顔を合せて、引き続きオンラインの利点も取り入れながら会員の皆様とのつながりを大切に進めています。

今年度千葉市では、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援センターが統合となります。統合後は従前の地域生活支援拠点としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答をいただいているところです。

育成会では今年度、総会そして、受託ましておりますゆうあいピックも開催することができます。少しすつではありますが顔を合せて、引き続きオンラインの利点も取り入れながら会員の皆様とのつながりを大切に進めています。

今年度千葉市では、障害者基幹相談支援センターと地域生活支援センターが統合となります。統合後は従前の地域生活支援拠点としての独自の役割を基幹相談支援センターが担うこととなるとの回答を

コロナ禍における活動の広がり

日々は当法人の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの終息はまだ見えきませんが、基本的な感染症対策を講じ、国、県、市の動向を見ながらコロナ禍前の状態に少しでも近づけるよう活動を広げ、利用者及び家族の皆さまの安心、安全を第一に法人運営に努めて参ります。

さて、令和4年度は各事業所において大幅な人事異動を行いました。特に

管理者の異動は、利用者及び家族の皆さんにとって不安が強いと思いますが、人が変わることで組織に風が吹き、流れができる良い効果もあると考えています。そのため、これまで伝えることができました。皆様のご意見やご要望がございましたら、遠慮なく各管理者に提言してください。その一つひとつを真摯に受け止め改善等に努めたいと考えております。

虐待防止委員会の役割

法人では、障害のある方々の権利擁護に対して職員委員会を組織し、日々質の高い支援を目指す取り組みをしています。その中においても、虐待防止委員会の設置が義務付けられたことを受けて、職員が虐待防止を日常的に考える機会を令和3年度から増やしました。このような取り組みは全国的に広がっていますが、それでもなお虐待事件報道は後を絶ちません。日常の何気ない支援の慣れがいつしか虐待の芽になつていくことを職員一人ひとりが認識し、法人外で生じてしまつた虐待事件を対岸の火事ととらえず、常に我が事として自分たちの支援を振り返る取組みを虐待防止委員会で行つてていきます。

部活動

副会長と理事はいざれかの部活動に所属し活動します。

広報部

研修部

レク部

文化部

委員会活動

委員会は会員ならばどなたでも参加できます。ぜひ、ご参加下さい。

せいかつ委員会

あんしん委員会

こども委員会

はたらく委員会

高齢化対応とグループホーム移転

利用者及び家族の高齢化に対応することは、法人にとつても重要事項の一つとなっています。そんな中、グループホームの共同生活住居ホタル（定員5名）が建物の老朽化のため移転先を検討していく過程において、若葉区源町に日中活動支援型のグループホームとなり得る物件と出会い、長期賃貸契約を締結することができました。そこでは、1階部分に定員10名の共同生活住居、2階部分に定員10名の共同生活住居を構え、各共同生活住居には定員2名ずつの短期入所事業も併設されることがあります。令和4年度末にはホテルが移転し、令和5年4月以降に全館オーブンの予定で現在準備を進めています。千葉市手をつなぐ育成会の皆さま方に、今年夏頃を目途に詳細な案内ができる予定であります。

このようにグループホームが広がつてていくこととあわせて、職員の確保、育成定着も重要な事項の一つとなつてきます。職員一人ひとりが仕事に対するやりがいを持ち、生涯にわたつて仕事を継続できる職場環境を作り、多様な働き方ができる組織づくりをしながら、法人の理念の実践を職員全員が同じ志で行つていきます。そのためにも、千葉市手をつなぐ育成会会員の皆様方からのご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

（成会だより 164号掲載）

その中で選定されたJR/京成稻毛地区において具体的なバリアフリー化に向けた事業を位置づけるため、令和4年3月に地区別バリアフリー基本構定の見直しや特定事業の設定を行い、令和3年3月に「千葉市バリアフリー・マスター・プラン」を策定しました。（育成会だより 164号掲載）



安心して社会参加するため

安心して社会参加するための基本構想策定

千葉市では、全面的なバリアフリー化の促進に向けた方針を示すとともに、重点整備地区①旅客施設の乗降客数②生活関連施設の立地数③人口に基づく優先度等を踏まえた上で設定の見直しや特定事業の設定を行い、令和3年3月に「千葉市バリアフリー・マスター・プラン」を策定しました。（育成会だより 164号掲載）



日々は当法人の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの終息はまだ見えきませんが、基本的な感染症対策を講じ、国、県、市の動向を見ながらコロナ禍前の状態に少しでも近づけるよう活動を広げ、利用者及び家族の皆さまの安心、安全を第一に法人運営に努めて参ります。

さて、令和4年度は各事業所において大幅な人事異動を行いました。特に

利用者及び家族の高齢化に対応することは、法人にとつても重要事項の一つとなっています。そんな中、グループホームの共同生活住居ホタル（定員5名）が建物の老朽化のため移転先を検討していく過程において、若葉区源町に日中活動支援型のグループホームとなり得る物件と出会い、長期賃貸契約を締結することができました。そこでは、1階部分に定員10名の共同生活住居、2階部分に定員10名の共同生活住居を構え、各共同生活住居には定員2名ずつの短期入所事業も併設されることがあります。令和4年度末にはホテルが移転し、令和5年4月以降に全館オーブンの予定で現在準備を進めています。千葉市手をつなぐ育成会の皆さま方に、今年夏頃を目途に詳細な案内ができる予定であります。

このようにグループホームが広がつていくこととあわせて、職員の確保、育成定着も重要な事項の一つとなつてきます。職員一人ひとりが仕事に対するやりがいを持ち、生涯にわたつて仕事を継続できる職場環境を作り、多様な働き方ができる組織づくりをしながら、法人の理念の実践を職員全員が同じ志で行つていきます。そのためにも、千葉市手をつなぐ育成会会員の皆様方からのご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

（成会だより 164号掲載）

その中で選定されたJR/京成稻毛地区において具体的なバリアフリー化に向けた事業を位置づけるため、令和4年3月に地区別バリアフリー基本構定の見直しや特定事業の設定を行い、令和3年3月に「千葉市バリアフリー・マスター・プラン」を策定しました。（育成会だより 164号掲載）

